

B-14 しみ抜きの衛生 一家庭での有機溶剤によるしみ抜き—
大阪教育大 奥窪朝子

目的 油性のしみ抜きに適用されている有機溶剤には、人体に対する毒性をもったものが多い。本報は、家庭での諸種溶剤によるしみ抜き作業時における衛生上の問題を検討した。

方法 1) 供試溶剤: 石油ベンジン、アセトン、エチルアルコール、パークロルエチレン、トリクロルエチレン、メチルクロロホルム、ベンゾール、四塩化炭素
2) 気中溶剤ガス濃度の測定: 北川式検知管によった。

成績 1) アンケート (対象者: 30, 40 年代の主婦 720 名 (関西の 16 地域から抽出))
結果、使用溶剤の種類は、石油ベンジンが 94% と大部分を占めていたが、四塩化炭素やベンゾールの使用もみられた。しみ抜き作業時に、溶剤による急性中毒の疑いある自覚症状 (頭重感、頭痛、めまい、はきけなど) を経験したことのある者が 20% におよんでいた。しみ抜き作業時に換気に配慮をしていると答えた者は 31% に過ぎなかった。2) 実験的に一般居室内 (窓を閉じ、特別の換気を回らず) で行なったしみ抜き作業時における作業者の口元付近の溶剤ガス濃度は、ほとんどの溶剤使用時、許容濃度 (ACGIH (1971) による短時間に対する最大許容濃度) を越えた。

以上の成績から、有機溶剤を用いてのしみ抜き作業時に当っては、溶剤中毒の予防に配慮する必要がある場合が多いと思われる。とくに、四塩化炭素は、肝、腎の障害を、またベンゾールは造血臓器の障害を引き起こすきわめて毒性の強い溶剤であるので、それらの家庭における使用は避けるべきであると考えらる。